

小学校 中学年<3-(10)>

学年	3年	時間	学級活動(短学活を活用) 「じしんがおさまったら」3年	時期	9月上旬	時数	20分～25分
目標	<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れがおさまった後、身近にいる大人の指示に従って、大人がいない場合は自分で判断して安全に行動することができるようにする。 火事やけが人を見つけたら、近くの大人に知らせることができるようにする。 						
資料・準備	スライド(文部科学省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)低学年・地震②「地しんがおさまったら」)、ワークシート						

展開

	学習活動と内容	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導入	主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・) 1. 地震の大きなゆれがおさまった後のことについて学習することを。 スライド1を提示 ◇地震の大きなゆれがおさまった後に起こることを考えてみましょう。	
展開	2. 地震がおさまった後、災害の現場ではどのような状況が起こるか考える。 スライド2を提示 ◇地震がおさまったら、どうしますか。 ・学校では先生の指示に従って集まる ・声をかけ合って無事確かめる ・困ったときは大人に助けを求める ◇安全な所へ避難しなければならない場合があります。地域の避難場所を知っていますか。 スライド3を提示 ◇地震がおさまった後に、けがをしている人や火事を見つけたらどうしますか。自分たちにもできることはどんなことか考えてみましょう。(ワークシート) ・近くの大人を呼んで、助けを求める ・119番に電話する(右参照) ・救急箱を持ってくる。	○避難時の約束 お・は・し・も を指導する。 (お)さない、(は)しらない、(し)やべらない、(も)どらない。 学校で統一する。(お・か・し・も)の場合もある。 ○地震はまた起きるかもしれない。大きな揺れがおさまっても危険な場所には近づかないこと。 ○地震がおさまったら、まず家族同士や友達同士で無事を確認することを指導する。 ○地域の避難場所を知らせ、家族とも話し合っておくよう指導する。 ○ワークシートを配布し、記入させる。 ○けが人や火災を発見したら、大人に知らせることの大切さを指導する。 ・大規模災害時は119番がつながりにくいこと。 ・子どもだけで火を消すのは危険なこと。 ○学校の設備などを例に、身近にある初期消火の道具や救急用品について説明する。(消火器、火災報知機、救急箱など) ☆ワークシートへの記入を通して、地震がおさまった後でも、危険なことや注意しなければならないことがあることが理解できたか。 ☆大人に伝えることの大切さが理解できたか。
まとめ	3 地震がおさまった後の行動で大切なことを確認する。 ◇地震がおさまった後はどう行動したらいいでしょう。	○余震に対する注意や危険なところには近づかないことを指導する。油断しない。 ○避難場所に行き、友達や家族の安否確認する。 ○けが人や火事を見つけたら大声で知らせる。 ☆地震がおさまった後でも安全に行動する姿勢が身についたか。

関連する教科・領域等	(社会)わたしのまち みんなのまち(4・5・6・7月) (学級活動)「地震だ!まず自分の身を守ろう」3年(9月) (学校行事)避難訓練(地震)(9月)
協力団体	

